

2022 年度 港区立高松中学校経営計画

校 長 鋤持 利行

1 今年度の『KEY POINT』

- (1) コロナ禍における学校運営
 - (2) 学びの質を高める授業改善〔平成3年度_新学習指導要領完全実施〕
 - (3) 生徒一人ひとりに配備された『学習用 i P a d』の活用
 - (4) 港区学校教育推進計画(令和3年度～令和8年度)の確実な実行
- めざすべき姿「夢と生きがいをもち、自ら考え、行動し、未来を創造する子ども」**

2 生徒一人ひとりにとって……

「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」になるよう努力していきましょう。

『魅力ある学校』

- ◎生徒の誰もが楽しく学び、活動でき、一人ひとりの生徒に応じて、確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」をはぐくむ学校。

『活力あふれる学校』

- ◎生徒たちと教職員が豊かな人間関係の中で、共に生き生きと活動する学校。

『信頼される学校』

- ◎学校を地域に開き、家庭・地域との連携・協力を重視した取り組みを展開し、生徒・保護者・地域から信頼される学校。

〔学校の教育目標〕

個を生かし、豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育を推進する。

- 深く考え進んで学ぶ人
- 思いやりのある心豊かな人
- 健康でたくましく生きる人

3 中期的目標と方策【高松中スクールビジョン2022】

- (1) 「高松中生のあたりまえ」の行動化を教育活動の根幹とする。

【方策1】「高松中生のあたりまえ」の行動化を促す活動を創意工夫すると共に、家庭・地域・関係諸機関と協同して定着に努める。

【方策2】あらゆる教育活動の場で、「自らが参加している」という意識をもたせ、高松中生としての自覚・誇り・責任をもたせる。

- (2) 目の前の生徒のために何ができるかを行動指針とする。

【方策1】会議等を効率的に運営し、生徒と向き合う時間を確保する。

【方策2】問題行動等の早期発見、迅速で的確な対応を目指し、組織的に課題解決に取り組む。

(3) いじめ・体罰等の根絶を図り、安全・安心な教育活動を展開する。

【方策1】港区立高松中学校いじめ防止基本方針に基づき組織的に対応し、早期発見、早期解決を目指す。

【方策2】報告・連絡・相談・記録を徹底し、全教職員で対応する。

(4) 創意工夫された授業を行い、授業で信頼関係を築く。

【方策1】教材研究及び生徒理解に資する研修に努め、わかる授業・楽しい授業・参加できる授業を実現する。

【方策2】校内研究の取り組みを意欲的に実践し、授業力を向上させる。

(5) 規律ある授業を行い、授業で生活指導の基盤を養う。

【方策1】日頃より規範意識をはぐくむ指導を行い、授業の規律維持に全力を尽くす。

【方策2】生活指導の原点は日々の授業であることを共通認識し、規律とけじめのある授業に向けた取組を行う。

(6) 家庭と協力し、家庭教育の充実と学習習慣の確立を図る。

【方策1】保護者に家庭教育の重要性についての理解と協力を要請する。

【方策2】「高松生活ノート」の充実した活用を図り、家庭学習を確立する。

(7) 事前指導及び事後指導を充実させ、教育効果を高める。

【方策1】道徳、総合的な学習の時間、特別活動における諸活動を「高松の教育計画」として位置付ける。

【方策2】諸活動の成果が発表できる場を意図的、計画的に設けることでより教育効果を高める。

(8) 幼稚園・小学校との連携を深め、中学校教育の基盤づくりを共に行う。

【方策1】学区域の幼稚園や小学校との交流・連携活動を通して「高松中生のあたりまえ」につながる教育を一体となって行う。また、入学前の「新入生オリエンテーション」などを行い「中1ギャップ」解消を図る。

【方策2】高松アカデミーをより一層充実させると共に、港区教育研究会での研究活動も活用し、教科における幼小中一貫を図り、中学校入学時の学力の基盤づくりを行う。

(9) 生徒・保護者・地域の人々との語り合いを大切にした共感の教育を進める。

【方策1】生活指導は対話を重視し、信頼関係を築く絶好の機会とする。

【方策2】地域の諸行事に参加し、地域に根ざした学校を推進する。

(10) 教職員一人ひとりが生徒のために〈プラスα〉の行動に努める。

【方策1】来校者や電話対応に心配りし、迅速かつ丁寧に対処する。

【方策2】潤いのある校内美化・鮮度の高い校内掲示・細心の安全管理に心がけ、
「気付き対応」を推進する。

(11) 情報の共有に心配りし、公平で公正な明るい職場環境をつくる。

【方策1】常に組織の一員であることを自覚し、協力・協同して対処していく。

【方策2】互いに心配りし、時間管理・健康管理に努める。

4 今年度の取組と方策

(1) 主に学習活動を通して

- ① チャイム始業を徹底するためにも、生徒、教師が常に時間を意識する。
- ② 授業内で「心のこもった挨拶・元気な返事・素早い後片付け」を共通指導する。
- ③ 生徒に本時の見通し（めあて）をもたせて授業を始める。
- ④ 「教材教具・宿題」等の忘れ物ゼロを目標とする。
- ⑤ 生徒が互いに教え合い、学び合う学習場面をつくる。
- ⑥ 電子黒板・タブレット等、ICTを利用した授業を積極的に実践する。
- ⑦ 家庭学習の時間は「学年＋1時間」を目標にする。
- ⑧ 生徒による授業評価を実施し、授業改善を図る。
- ⑨ 各種検定へのチャレンジやポスター絵画コンクール、作文コンクール等への参加を積極的に働きかける。

(2) 主に生活指導を通して

- ① 常に一手先を見通した予防的生活指導及び初期対応に全力をあげる。
- ② 心のこもった「あいさつ運動」を教職員全体で行い、協力する体制をつくる。
- ③ 「高松中生のあたりまえ」を啓発する掲示等の校内環境整備を進める。
- ④ 身なりへの意識を高め、学校全体のフォーマルゾーン化を実現する。
- ⑤ いじめの発生を防ぐため、朝・昼・放課後等に教員が組織的に巡回し、生徒との触れあいを大切にする。

- ⑥ 美化活動に努めるとともに、人権教育の視点に立った掲示物や言語環境を整える。また、「高松人権アンケート」を毎月実施する。
- ⑦ 「命の大切さを学ぶ教室」を活用し、「嘘をつかない・弱いものいじめをしない・生命の尊さを知る」生き方を身に付けさせる。
- ⑧ 「朝読書」で始まり「三行日記」で終わる1日の流れの共通指導を推進する。

(3) 主に進路指導・行事・その他を通して

- ① 集団行動における指導を徹底する。
- ② 生徒理解を深め、生徒の個性・創造性・人権を尊重した指導に努める。
- ③ 感動的な2大行事、高松体育大会と合唱コンクールを継承・発展させる。
- ④ 高松交流ガーデンの活性化を図り、花のある学校づくりを推進する。
- ⑤ 環境問題の意識を高めるEMS（環境マネジメントシステム）の取組を推進する。
- ⑥ 教育公務員の自覚をもち、厳正なサービスを行い、生徒・保護者・地域との信頼関係に基づいた職務を徹底する。
- ⑦ 声の大きい人の意見が通る職場にせず、公平・公正で明るい職場づくりを全員で意識していく。
- ⑧ 校内備品等は、広く区民の共有財産であるという認識をもち、効果的かつ組織的活用、管理保管に努める。
- ⑨ 災害時における、避難所という意識を徹底し、各防災協議会との連携を密にして地域防災機能の活性化を図る。

高松中生のあたりまえ

- ◆ あいさつ・返事は元気よく！
- ◆ 『チャイム始業』！
- ◆ 自ら正す『フォーマルゾーン』人を認める『三行日記』！

高松中スクールビジョン2022

- 1 「高松中生のあたりまえ」の行動化を教育活動の根幹とする。
- 2 目の前の生徒のために何ができるかを行動指針とする。
- 3 いじめ・体罰等の根絶を図り、安全・安心な教育活動を展開する。
- 4 創意工夫された授業を行い、授業で信頼関係を築く。
- 5 規律ある授業を行い、授業で生活指導の基盤を養う。
- 6 家庭と協力し、家庭教育の充実と学習習慣の確立を図る。
- 7 事前指導及び事後指導を充実させ、教育効果を高める。
- 8 幼稚園・小学校との連携を深め、中学校教育の基盤づくりを共に行う。
- 9 生徒・保護者・地域の人々との語り合いを大切にした共感の教育を進める。
- 10 教職員一人ひとりが生徒のために〈プラス α 〉の行動に努める。
- 11 情報の共有に心配りし、公平で公正な明るい職場環境をつくる。